

◇ 教育理念 / 目的 / 目標

北海道医療大学大学院

教育	理念	<p>建学の理念を基本として、大学院の教育理念を以下のように定める。</p> <p>生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、人間性豊かな高度専門職業人の養成ならびに独創的な研究活動を通して、社会の発展と人類の幸福に寄与することを北海道医療大学大学院の教育理念とする。</p>
	目的	<p>北海道医療大学大学院の教育理念に沿って、高度な専門知識・技術の修得に加え、保健・医療・福祉分野の横断的な知識および豊かな人間性を有した高度専門職業人の養成と最先端の研究活動を通じて、社会の発展、人類の幸福に寄与できる教育・研究者の養成を本大学院の教育目的とする。</p>
	目標	<p>北海道医療大学大学院の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。</p> <p>1. 豊かな学識と人格の養成 2. 高度な専門知識および学術の修得 3. 独創的な研究および研究能力の開発 4. 社会の要請に的確に対応できる教育・研究の推進</p>

大学院心理科学研究科臨床心理学専攻

【修士課程】

教育	理念	<p>本大学院の教育理念を基本として、心理科学の応用領域におけるより高度かつ実践的な専門的知識・技術力、および関連領域の科学技術の発展に対する知識を持ち、省察的科学家－実践家としての立場から地域的・国際的に貢献しうる高度専門職業人の養成を目指し、これにより、人類の心の健康および心の教育研究の発展に寄与することを心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念とする。</p>
	目的	<p>心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念に沿って、高度かつ実践的な専門的知識・技術力、および関連領域の科学技術の発展に対する知識を持ち、省察的科学家－実践家としての立場から地域的・国際的に貢献しうる高度専門職業人の養成を本専攻の教育目的とする。</p>
	目標	<p>心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。</p> <p>1. 深い学識と豊かな人間性を涵養する 2. 公認心理師としての高度な専門知識および学術を修得する 3. 臨床心理学領域における研究能力と問題解決能力を涵養する 4. 高度専門職業人としての臨床心理領域における社会的要請への対応力を涵養する</p>

【博士課程】

教育	理念	<p>本大学院の教育理念を基本として、修士課程で得た心理科学に関する応用領域の専門性を省察的科学家－実践家としての立場からより精緻に教育研究し、さらに心理科学の立場から心の研究の後継者となりうる人材を養成し、これにより、人類の心の健康と心の教育研究の発展に高度に寄与することを心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）の教育理念とする。</p>
	目的	<p>心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）の教育理念に沿って、心理科学に関する応用領域の専門性を省察的科学家－実践家としての立場からより精緻に教育研究し、更に心理科学の立場から心の研究の後継者となりうる人材の養成を本専攻の教育目的とする。</p>
	目標	<p>心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。</p> <p>1. 深い学識と豊かな人間性を涵養する 2. 臨床心理学領域における高度な専門知識および学術を修得する 3. 臨床心理学の研究者・教育者としての高度な研究能力を涵養する</p>

北海道医療大学大学院心理科学研究科臨床心理学専攻三方針

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【修士課程】

以下の要件を満たし、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として自立できる者と認められ、修了後は公認心理師として社会に貢献することが期待できる能力を修得した者に対して、「修士（臨床心理学）」の学位を授与する。

1. 心に関わる社会的諸課題について臨床心理学や関連諸科学の学修を通じてそれらの解決方法に関するアプローチを立案し実行する能力を有している。
2. 公認心理師に求められる心理的アセスメントや心理支援に関する高度専門技能を修得している。
3. エビデンスに基づく心理支援を実施でき、臨床心理学の学術研究の推進に寄与できる研究能力を有している。
4. 地域ならびに臨床施設において省察的科学者－実践家モデルの理念に即した心理支援の行為ができる。

【博士課程】

以下の要件を満たし、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて、社会に貢献できると認められる者に対して、「博士（臨床心理学）」の学位を授与する。

1. 心理学に関連した領域における指導的実践者にふさわしい教育技術や高度な倫理観を有している。
2. 心理学領域において自立した研究者として必要な研究能力を有している。
3. 先端的な専門知識および技能を修得し、学術研究を開拓的に前進させる能力を有している。

教育課程編成・実施の方針 （カリキュラム・ポリシー）

入学者受入れの方針 （アドミッション・ポリシー）

【修士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の学位授与の方針（ディプロマポリシー）に基づき、科学的知見と臨床実践を有機的に統合する省察的科学者－実践家モデルを教育理念の根幹とし、地域社会の要請に応える質の高い公認心理師を養成するため、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 心に関わる社会的諸課題について臨床心理学や関連諸科学の学修を通じてそれらの解決方法に関するアプローチを立案し実行する能力を修得するために、公認心理師に必須の保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野における心理支援に関する科目を1年次に配当する。これらの科目では、講義による理論的知識の修得に加え、演習における事例検討や討論を通じて、臨床心理学及び関連諸科学の深い学識と、専門家としての高度な倫理観を育む。
2. 公認心理師に求められる心理的アセスメントや心理支援に関する高度専門技能を修得するために、関連する理論と実践を学ぶ科目を1年次に配当する。講義と演習（ロールプレイングを含む）を連動させ専門性の基盤を形成するとともに、2年次に公認心理師課題演習を配当し、国家資格に求められる知識と技能の統合・深化を図る。
3. エビデンスに基づく心理支援を実施でき、臨床心理学の学術研究の推進に寄与できる研究能力を修得するために、1年次から2年次にかけて臨床心理学研究法及び臨床心理学課題研究を配当する。研究指導教員による個別指導のもと、研究計画の立案から論文作成まで一貫した指導を行い、科学的思考力と問題解決能力を養う。
4. 地域ならびに臨床施設において省察的科学者－実践家モデルの

【修士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（修士課程）では、保健・医療・福祉・教育、司法・産業の領域における心理臨床の高度専門家である公認心理師として、人類の幸福に貢献する志のある以下の資質を持った人材を求めます。

1. 大学における公認心理師養成カリキュラムを履修し、入学後に必要な知識および技能を修得している人
2. 心理臨床において、科学者実践家として幅広く心の問題に向き合う基礎的研究能力と志を有している人

なお、入学者選抜区分ごとの入学希望者に求める能力、水準等の判定方法は以下のとおりです。適性を総合的に評価して入学者を選抜します。

「一般選抜」は、英語及び臨床心理学領域に関する専門科目の筆記試験により修学に必要な学力を評価し、さらに研究計画書などの出願書類と面接により修学意欲及び研究計画の妥当性などについて評価します。

「社会人選抜」は、英語の筆記試験により修学に必要な学力を評価し、小論文により論理的思考力、表現力を評価します。さらに履歴書、業務調書及び研究計画書などの出願書類と面接により修学意欲及び研究計画の妥当性などについて評価します。

【博士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）では、保健・医療・福祉・教育、司法・産業の領域における心理臨床の高度な教育指導者および研究者として、人類の幸福に貢献する志のある人材を求めます。また、修士課程の能力に加えて、臨床の現場、教育・研究機関等において指導者となる志を持つ人材を求めます。

なお、入学者選抜区分ごとの入学希望者に求める能力、水準等の判定方法は以下のとおりです。適性を総合的に評価して入学者を選抜します。

理念に即した心理支援の行為ができるよう、1年次から2年次にかけて心理実践実習を必修とする。学内外の臨床施設において、指導教員及び実習先スーパーバイザーによる指導（スーパービジョン）のもとで実践経験を積み、事例検討会に参加・議論することで、多職種連携や地域連携の視点を含んだ総合的な実践能力を研鑽する。

5. 学修成果の評価は、講義科目ではレポート、筆記試験、プレゼンテーション、討論への参加状況に基づき行う。実習科目では、実技試験（OSCE）、事例報告、ケースカンファレンスへの貢献度を、実習先スーパーバイザーからの外部評価も参考にして多面的に評価する。修士論文は、研究指導と中間報告会での形成的評価を経て提出され、本研究科の修士論文審査基準に基づき、論文審査及び最終試験によって総合的に評価を行う。
6. 教育課程の質を保証し継続的に改善するため、FD及びSD活動を継続的に実施し、教職員の教育・指導能力の向上を図る。加えて、修了生からのフィードバック、実習協力機関からの評価等に基づく定期的な自己点検・評価を実施する。これらの結果と、国の公認心理師カリキュラムの動向を踏まえ、教育課程の編成と実践に反映させることで、継続的な質的向上を図る。

【博士課程】

心理科学研究科臨床心理学専攻（博士課程）の学位授与の方針（ディプロマポリシー）に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 心理学およびその関連する領域において将来の指導者、研究者として必要な指導・研究能力、高度な倫理観を獲得し、かつ、先端的な専門知識および技能を十分に修得するために、基礎および臨床の各専門領域についての科目を配置する。
2. 専攻領域の学術研究を開拓的に前進させる能力を獲得するために、臨床心理学特別研究を配置し、先行研究の概観、研究計画の立案、データの収集と分析方法等について博士論文作成を視野に研究能力の向上を目的とした教授及び指導を行う。
3. 国内外の学会報告や論文投稿を可能にするアカデミック活動を支援するとともに、将来の指導的実践者、自立した研究者として活躍するためのキャリア形成が可能となる多様な教育機会の提供を図る。
4. 北海道医療大学学位規程、同大学院心理科学研究科学学位規程施行細則に基づいた手続きを経て提出された学位論文に対し、学位論文審査基準・評価方法に即した審査を行い学位の認定を行う。
5. 教育課程の質を保証し継続的に改善するため、FD及びSD活動を継続的に実施し、教員の教育研究指導能力の向上を図る。加えて、研究指導の適切性や学位論文の審査水準に関する定期的な自己点検・評価を実施する。これらの結果と、国内外の学術的動向を踏まえ、教育課程及び研究指導体制の見直しを継続的にを行い、教育の質を保証する。

「一般選抜」は、英語及び臨床心理学領域に関する専門科目の筆記試験及び口述試験により修学に必要な学力を評価し、さらに研究計画書、履歴書及び業務調書などの出願書類により修学意欲及び研究計画の妥当性などについて評価します。